

市報

とおがまち

平成元年

11/10

397号

発行／十日町市役所 〒948 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL 0257-57-81

編集／経済課文書刊行係(毎月10日発行)

■十日町市の面積211.44km² ■人口(10月末日現在)46,995人(前月比-16)男23,066人(-5)女23,929人(-11) ■世帯数12,446(±0)



文化のかおりを満喫^{まんきつ}

10月29日から11月5日までの間に、市内各地で芸術の秋にふさわしい、多彩な催し物が行われました。

一年間の成果の発表を見に、訪れた人たちは、文化のかおりを満喫していました。



芸術と人生

日本を代表する芸術家の提言

10月21日出、市民会館で博物館友の会と市で行った「芸術と人生」をテーマに、池田満寿夫さん(版画家)と吉原幸子さん(詩人)をお招きして、秋にふさわしい芸術談義や人生の裏話など交え、瀬木慎一さん(美術評論家)の司会でお話していただきました。2・3ページでは、その概要をお知らせします。

芸術、美術はまねることから出発

瀬木―芸術は、人生にかかわって生まれ、人生も芸術なしには成立しないと言ってもよいと思います。

昔から芸術家自身が、芸術と人生にいろんなかわり方をしています。芸術に徹して、人生を切り捨て、純粹な境地に達していくのが、芸術家の最高の生き方だと考える人もいれば、芸術は生きることの表現だと考える人もあるわけです。

芸術と人生というか、人間とのかかわりについて、いろいろ考えたり議論したりしているわけですね。そんなところから、きょうのテーマが与えられたと思います。池田さん、あなたは芸術というものをいつ、どのように発見しましたか。

池田―いきなりむずかしい質問ですね。自分が画家になろうと決心したのが、芸術家になろうとしたきっかけだと思います。

ベレー帽をかぶって、白い作業服みたいなものを着て、犬を連れて歩いている、素朴なイメージにあこがれていたんですね。

わたしは戦中少年です。学校に行っても飛行機や戦車ばかりかかされて、風景画をかいだ記

憶はないんです。家に帰れば、

のらくろとか冒険タン吉の絵をいっしょけんめいかいていました。小学生のころ、ほめられて、自分の得意なものは、絵だ

という自覚がだんだん高まってきました。芸術でも文学でも、

一つの仕事に熱中することが第一だと思っています。熱意や情熱のないところには、芸術もなけれ

ば美術も文学もありません。何よりも絵をかくことが楽しい、

絵をかきたいという欲望を早くから持ったわけです。

日本も敗戦の混乱から立ち上がり、情報が入り、外国の展覧会を見たりするチャンスも増えて

きます。そんなことで自分の視野が広がっていくわけです。さきほど、市展を見せていた

だきました。一つ言いたいことは、県展とか美術展に入選して

いる先生のまねをすることです。

瀬木―吉原さんの芸術の発見、芸術との接触を、お話ししていただきたいと思います。詩と演劇はどちらが早いですか。

芸術、美術は、まねから出発

しています。まねをすることが一番大事です。先生の技術に近づこうとすることです。

わたしも長野から東京に出て、日本の中でも偉い林武、松本竣介のまねをしたわけです。その

うちに、フランスの方から情報が届いて、まねの範囲が広がっ

てきました。高校時代にピカソの画集「青の時代」を初めて見た

ときの衝撃は、今でも忘れられないですね。「ほかの絵とどこ

か違う」刺激的なものがあるんです。「これが絵なのか」とい

う驚きを受けたわけです。ピカソの影響を非常に強く受

けて、ピカソのやったことをそのとおりにやり、そして、はじ

めて現代絵画は何かという認識が出てきました。どうしてピカ

ソはこういう絵をかいたんだろうかという疑問とか、いろいろ

なことを考え、はじめて世界とつながったわけです。

十日町にいても世界中の情報を知ることが出来ます。世界に通用する絵をかくことが出来る

わけです。

ただ、いつまでもまねをしていてはだめです。先生を抜くためには、先生と違う方向に行かなければなりません。それは、

たいへんなことです。

現代絵画は、技術を全部打ち壊しました。写實的な技術を持つていながら、それを隠してか

いていきます。自分の考えで、その技術を捨てるのです。自分の

今まで持っていた技術を否定することによって、次の技術を自分で作り出していくわけです。

人生でいえば結婚と同じです。わたしの絵も、スタイルがどんな変わってきました。住んでいる場所が変わって、一緒に住む女性が変わると、絵が変わります。

つてきて、「詩はおもしろいなあ」と思いました。

一歳の子どもを引き取って結婚生活をやめ、孤独になってから詩を始めました。

池田さんのお話を伺っていて

日本は近代絵画の評価が低すぎる

瀬木

萩原朔太郎や室生犀星とか、

好きな詩を書きとめたり、姉は佐藤春夫とか、好きな詩を書き

とめておくノットを持っていた、家の兄弟は節をつけてそれをうたうんですね。それが耳から入

うらやましいと思ったのは、絵は翻訳の必要がないので、ピカソでも池田さんでも、ほかの国の人に説明しないでもわかるわけです。言葉のアートは、外国の一流をまねようと思っても、できないところがありますね。

池田 絵は見ればすべての人がわかると思いますが、見てもわからない人がたくさんいます。アメリカで展覧会を開いたとき、一流の記者から「お前、日本人のくせに、なぜ浮世絵や木版画をしないのか」と言われました。彼らには、日本の文化は、

吉原 池田さんが大賞をおとりになった絵は、日本的じゃないですよ。

池田 ニューヨークにいたころの作品です。

榎方志功が版画大賞をとった時は、日本的なものに賞を出したわけですね。わたしがとった時は、日本的なものというよりは、全くないです。榎方志功の場合とわたしの場合は、価値感がちよつと違います。そういう意味で、わたしの賞は非常に注目されました。はじめて日本のでないものが、国際的に認められました。

瀬木 文学でいうと、安部公房

圧倒的に能・歌舞伎・浮世絵などの古典だと思っていて、文化的偏見がありますね。

瀬木 日本は特殊な国だと思われ、限定的なイメージで見られているので、芸術家にとってもやりにくいでしょうね。

絵画は、見ればわかるというけれども、明治以降の近代絵画中で、世界的な評価の対象になるものが非常に少ないですよ。

ヨーロッパやアメリカで書かれた、近代美術史に登場するのは藤田嗣治くらいです。全然出てこない本も多い。過去百年間に

池田 大江健三郎、小沢征爾につながつているのかもしれないね。

池田 ただ、版画だからとれたんです。日本は、まだ大きな賞を、「油絵」ではだれもとっていません。版画に対して、外国人は非常に寛大です。浮世絵の影響は、我々が考えている以上に強いんです。日本というところ、浮世絵なんです。浮世絵の伝統があるから、日本の版画はいいと優遇するのです。

瀬木 「日本人の油絵は、だめだ」という先入観があるから、油絵の人はたいへんですね。

池田 日本でも版画は長い間、

近代美術史に登録されていないのは日本だけだと、これが日本の不思議さというところで、よく論じられるのです。

岡本太郎も、最近の辞典の中に出てくるんですが、榎方志功や池田満寿夫さんが出てきた、といつても、数人くらいしかいません。

池田 藤田嗣治は、パリにいたからですよ。岡本太郎もずっとパリにいればよかったんです。国際的になるためには、いろんな条件がありますが、その土地にいることが第一条件です。

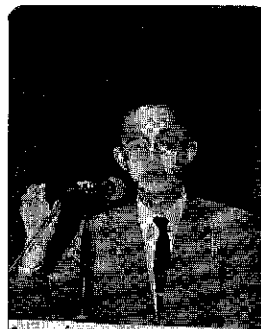
ばかにされていたんです。

榎方志功は、版画をいかに対等に持つていくかということと、どんな大作を作り、グランプリをとったので、みんながびっくりしましたね。

瀬木 大作を作ったから注目したんで、普通の大きさのものだったから、それほどでなかったかもしれないですね。

池田 一般の人たちは、映画を見る気持ちで絵を見る人がいます。悲しさとか喜び、そういう情感が伝わる絵は、すばらしいと思う人がほとんどです。わたしたちは、美的な感覚に

国際的にも版画は見直されてきた



瀬木 慎一さん
昭和3年に東京に生まれ、中央大学を卒業。美術評論家、詩人。ヨーロッパ、アメリカで国際会議などに参加。日本では「ピカソ展」「シャガール展」を開催。著書に「20世紀の芸術」「創造の美学」「ピカソ」などがある。



池田 満寿夫さん
昭和9年に満州に生まれ、長野北高校を卒業。版画家、小説家、映画監督。ビエンナーレ展で文部大臣賞や国際大賞を受賞。小説「エーゲ海に捧ぐ」で芥川賞。各地で「池田満寿夫展」を開催。著書も「模倣」など多数ある。



吉原 幸子さん
昭和7年に東京に生まれ、東京大学を卒業。卒業後、「劇団四季」に女優として在籍。詩人。歌や舞踊と詩の朗読のジョイント公演を試みている。著書に「現代詩ラ・メール」や「夏の墓」など多くの詩集や童話集、翻訳がある。

吉原 池田さんを見て泣く人はいません。「色彩がきれいだ、美しい」と言われれば満足してしまいます。ところが、見る人たちは、意味を求めようとします。わたしたちは、意味を求めていないんです。現代絵画を見るときは、今までの見方を変えなければいけないと思います。

瀬木 いろいろお話しすると、思いますが、時間の都合もありますので、終了いたします。



↑記念講演 小林亜星さんは「歌は世につれ世は歌につれ」をテーマに講演し、会場には550人が入りました。

→内科・歯科・栄養相談コーナーや各種展示即売コーナーに人気が集まりました。



↑「健康づくり作文」の表彰と発表 各部門の最優秀賞の表彰が行われました。代表して植熊新介くん（写真右上）が作文を朗読しました。



大盛況 '89 健康づくりフェア 明日の雪とくらし展に6,500人

カメラ
スポット

十月二十七日金、市民会館で行われた'89健康づくりフェア 前夜祭を皮切りに、二十八日（土・二十九日）とクロス10で'89健康づくりフェアと明日の雪とくらし展が開かれました。期間中は、晴天に恵まれ、市内外から延べ六千五百人が訪れ、健康づくりコーナーや雪処理技術展示など熱心に見学していました。



↑健康ラリー「健康七ヶ寺めぐり」に400人の皆さんが挑戦しました。



→歯科相談 大きく口をあけて、むし歯はありませんか。



↑料理展示コーナー 素晴らしい料理がいっぱい。訪れた人の目を楽しませてくれました。



↑内科相談 定期的に検診を受けていますか。健康づくりの第一歩ですよ。



↑成人病予防コーナー 血圧は正常かな。自分の血圧を知っておくのも、ないせつですね。



↑夢の抽選会 1等が当たるかな？素敵な賞品がいっぱいありました。

平成元年度 健康づくり作文入賞者

ヘルスパイオニアタウン事業を一つとして募集した「健康づくり作文」に195点の応募があり、次の皆さんが入賞いたしました。（敬称略）

小学校低学年の部（応募44点）

- 最優秀賞 斎木俊太（鑑島小2年）
- 優秀賞 富田香奈子（東小2年）
- 高橋啓一（西小1年）小泉朋子（東小2年）

- 入選 柳千穂子（西小2年）佐藤麻美（東小1年）斎木かおり（八箇小1年）金子英央（東小2年）根津佳美（東小2年）佐藤由佳（水沢小2年）中村英里（中条小2年）三田勇（八箇小2年）角山英寛（下条小2年）阿部康之（西小2年）

小学校中学年の部（応募57点）

- 最優秀賞 南雲美千代（中条小3年）
- 優秀賞 山口亮（下条小3年）尾身亜由美（名ヶ山小3年）山口由明（中条小3年）
- 入選 大島亜季子（中条小4年）風間博伸（八箇小3年）蕪木千夏（西小4年）桑原直子（野中小4年）井沢文（水沢小4年）村山めぐみ（下条小3年）尾身和馬（鑑島小4年）山田一也（下条小3年）山田夏代（下条小3年）山口直也（東小4年）

小学校高学年の部（応募61点）

- 最優秀賞 樋熊新介（東小5年）
- 優秀賞 水落綾子（飛二小6年）田村彩（西小5年）大津まゆみ（飛一小6年）

- 入選 岩田勇起（飛一小6年）村山宏道（八箇小5年）小嶋千恵子（東下組小6年）俵山昇子（六箇小5年）島田悟（鑑島小5年）渡辺典子（下条小5年）松沢孝昭（西小6年）田村健二（東小6年）庭野杉男（中条小6年）渡辺学（水沢小6年）

中学校の部（応募8点）

- 最優秀賞 小杉和之（下条中3年）
- 優秀賞 小林雅幸（南中3年）春川英樹（十日町中3年）
- 入選 西野正人（南中2年）宮沢早苗（水沢中2年）宮沢幸二（水沢中2年）滝沢哉子（中条中1年）

一般の部（応募25点）

- 最優秀賞 柳宏一郎（本町4）
- 優秀賞 生越伊三郎（下条栄町）服部祐子（美雪町3）
- 入選 大淵民（上新田3）島田和之（新座3）庭野三省（中条旭町）
- 特別賞 庭野ヨイ（江道）

雪に関する小学生の絵画コンクール入賞者

「明日の雪とくらし展」事業の一つとして募集した、絵画コンクールに556点の応募があり、次の皆さんが入賞いたしました。（敬称略）

- 最優秀賞 瀧沢一也（東小2年）
- 優秀賞 柳太郎（吉田小1年）松井れいな（赤倉小3年）小島恵（十日町小6年）柳沢正希（中条小6年）
- 佳作 水落千寿子（東小1年）高橋壮一（東小1年）藤木恵理（飛一小1年）福田雄太（川治小1年）吉村真奈美（中条小1年）宮内隆和（中条小1年）高橋桂太郎（西小1年）桑原里美（野中小1年）服部定良（水沢小2年）藤巻裕太（水沢小2年）林舞子（吉田小2年）桜井伸（飛二小2年）金沢純（馬場小2年）丸山知子（馬場小2年）村山裕樹（東小2年）松沢なお（川治小3年）桑原由江（川治小3年）大淵俊彦（川治小3年）保坂恵（水沢小3年）佐藤健太（水沢小3年）水落大（東小3年）波形千鶴（東小3年）涌井絵梨（鑑島小3年）大熊恵美子（赤

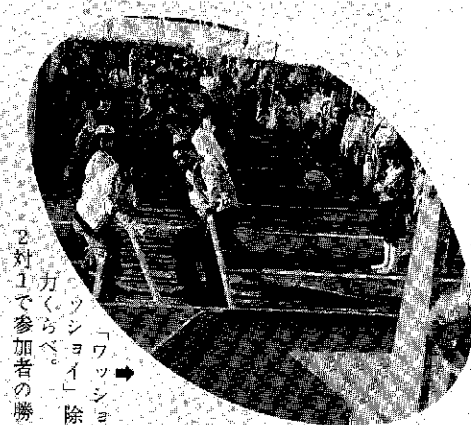
- 倉小3年）佐藤祥子（馬場小3年）大島恭子（東小4年）庭野哲臣（東小4年）高橋史織（西小4年）山田清香（西小4年）水落誠・水落美恵子・小島妃富・田村大亮・山田智恵子（東下組小3・4年）矢野直樹（川治小4年）相崎ゆき子（吉田小4年）富井由香里（馬場小4年）村山一則（下条小4年）関口友美（十日町小4年）宮沢征子（水沢小4年）水落まゆみ（東下組小5年）大熊安樹子（赤倉小5年）相崎旭（吉田小5年）吉田大介（十日町小5年）酒井貴浩（十日町小5年）樋口里美（十日町小5年）島田恵利子（西小5年）根津高德（西小5年）涌井和也（鑑島小6年）松田寛子（東小6年）宮沢郁会（水沢小6年）小野塚富士男（下条小6年）根津社司（十日町小6年）



「明日の雪とくらし展」が、人々の代表によるテープカットで幕をあげました。雪に関心のある大勢の人で終りにぎわいました。



最新型雪処理機械の説明に耳を傾けていました。



「ワッショイ・ワッショイ」除雪機と方ぐらべ。2対1で参加者の勝ち。



「パンコン」っておもしろいね。ぼくも欲しいなあ。



晴天に恵まれ、人出も最高。親子連れで見学する人もいっぱい。

博物館に収蔵庫・考古館が完成

～越後縮の紡織用具などを展示～

十月二十一日(出)、重要有形民俗文化財越後縮収蔵庫と博物館に増築された考古館が完成し、文化庁や県関係者など約百人が出席し、竣工式が収蔵庫内で行われました。

昭和六十一年に国の重要有形民俗文化財の指定を受けた越後縮の紡織用具および関係資料二千九十八点を保存するための収蔵庫と馬場上・笹山遺跡などの出土品や暮らしなどを展示する考古館の二つの事業が昨年の九月から始められていました。二つの施設は、鉄筋コンクリート三階建て、合計面積千七百二十二平方メートルで、総事業費三億千七百萬元で完成しました。

木造を張りめぐらした収蔵庫は、木のおいふんだんに取り入れたのが特色です。なお、考古館は引き続き展示施設の工事を進めるため、一般公開は二、三年後になる予定です。



完成した収蔵庫
竣工式であいさつする丸山市長

チームワークで奇跡の逆転優勝

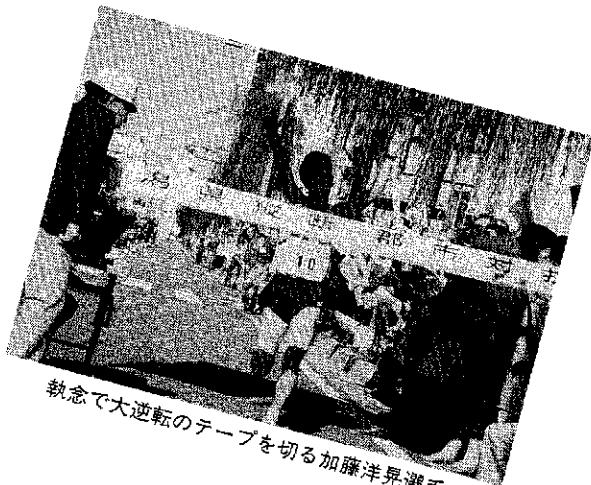
～第42回県縦断都市駅伝大会～

十月二十一日(出)・二十二日(回)の二日間、第四十二回県縦断都市駅伝大会が、新井・新潟間二〇〇・七kmの越後路で行われ、熱戦が繰り広げられました。

昨年の雪辱を期して望んだ十日町チーム(大久保善雄監督)は、初日新潟に五分二十八秒の大差をつけられましたが、社会人・大学生・高校生の固いチームワークでタスキをリレー。みごと奇跡の逆転優勝を成し遂げました。

予期せぬ大差をつけられた初日、宿での作戦会議でエース太田篤宣選手(四日町新田三)が二分、他の選手が三十秒ずつ縮めることを誓い、二日目に挑みました。タスキに命をかけ、選手・役員が一丸となった結果、新潟に一分五十七秒の差をつけ、優勝旗を二年ぶりに奪還しました。

二十三日(月)優勝報告に丸山市長を訪れた大久保監督は「選手がこの一年、必死で練習して、十日町の底力を見せってくれました」と報告しました。



執念で大逆転のテープを切る加藤洋晃選手

若い心経を書く

三千八百八十枚の般若心経を書く

長い間、中条公民館の長寿学級と焼物教室に通っています。七十七歳の時、金婚式の祝いがあるので、二階を片づけていた



庭野恒治さん
(中条旭町・88歳)

ら、子どもが使っていた墨汁と書き初めの半紙が出たので般若心経を書き始めたんです。毎日一枚、今までに三千八百八十枚ほど書きました。そのうち三千三百枚は、米迎寺に、残りの五百枚は、「中条公民館の文化祭に出品させていただきます」と言って、公民館の人が持つて行きました。確かにボケ防止には最適だと思っていますが、出品するほどのものではありません。

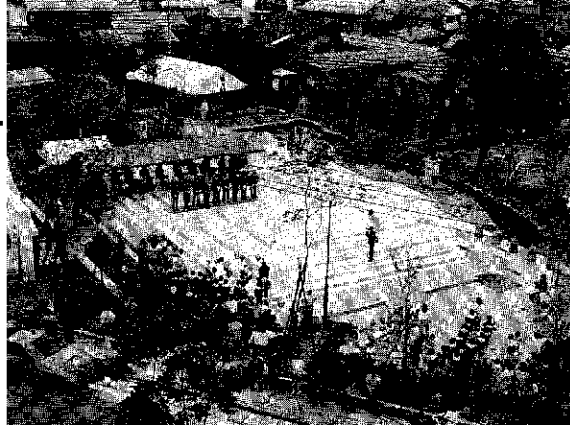
曲がった腰で張り切る絞りの内職

六年前まで緋の手織りをやっていたんですが、家を新築したのできつかけにやめたんです。今は、嫁の紋内職の手伝いをやっ



尾身 ムメノさん
(鉢1・82歳)

て、花の模様を縫うのがわたしの仕事なんです。眼鏡をかけないで内職ができた、新聞も読めるんでありがたいですね。腰が曲がってしまい、つえを突いて歩くんでほねがおれるんです。去年まで、曲がった腰にむち打って、三十分も歩いて畑仕事に行きました。先日、三ヶ月をまこうと畑を耕していて、腰を痛めてしまったんです。二年には勝てないの、春先、石打に湯治に行くのが楽しみです。



テーブルカットで開園した「きもの広場」

日本庭園「きもの広場」が完成

十月二十八日(土)「きもの広場」(クロス10前)が完成し、開園式が行われました。北越保育園の鼓笛隊や双葉会の琴演奏、服部社中ののど歌などが開園に花を添えてくれました。

この広場は、国土庁の「花と緑の都市モデル地区整備事業」の一つとして、昭和六十三年から造成を進めてきました。事業費は六千六百五十六万円、面積二千二百八十平方メートルです。

ルできものをデザインした中央広場、循環式のせせらぎ、骨敷きのベンチがある東屋、ふじ棚・樹木に囲まれた休憩所やのど歌ができるスペースを取り入れた日本庭園で、きものイベント広場として期待されます。きもの姿のスナップ写真を、撮ってみてはいかがでしょうか。



活動最前線

No.44

「消火器の使い方」も防災の一つ



完成した雪像作品にみんなが満足顔

全員参加の活動が根付く

袋町西區稲和会(真積 実会長)

チームワークを誇りにして

「上町の俄に協力しよう」と、昭和五十三年に発会しました。会の目標は、ふれあいを通して融和を図ることと、隣近所に住む人が、奉仕をしながら連携することです。

会員は二十人、三十歳代から五十歳と年齢層はさまざまですが、年齢を感じさせないまとまりを誇りにしています。先輩が長い間の努力で、組織運営の基礎を築いてくれたのも一つの特色でもあります。

趣味は最高!

32



斎藤茂吉先生のふるさとで記念撮影

君妻有短歌会

連絡先・佐野 広さん

(本町一上)
☎ 57-4229

公民館で短歌を学んだ人たちが、このまま解散するのは惜しい。

「短歌会を作りましょう」と声を掛け合って、昭和四十八年に発足した会です。会員は男性三人、女性十四人で五十歳代がほとんどです。

毎月第一・第三火曜日に公民館で歌会と会報の合評をやっています。今年七月には、好きな歌を集めた、記念すべき第百号を発行しました。また、石に歌を刻んだもの

を永久に残そうと、三つの歌碑を諏訪神社、天満宮(原)、黄桜の丘(宮中)に建立しています。

「家に歌集があり、中学生のころから親しむ機会がありましたし、自分の気持を表現できるのは、短歌が一番です」といねいな口調で話す会員の佐野さん。

そして今、来年に向けて合同歌集第十編を出版する準備に余念がない。「ほかから『特殊な会だ』と言う感じを受けるかもしれませんが、決してそんなことはありません」と、まとまりを訴える会員の声が聞かれます。

これまでに数々の歌集を出版・発行していますので、希望の人は気軽に問い合わせてください。

主な年間事業を紹介します。五月は花見、六月は消毒、七月は納涼会と子供会行事、八月は盆踊り大会と俄、十月は消火器の使い方の講習と旅行、十二月は忘年会、一月は新年会、二月は雪まつり、三月は総会、そのほか年間通して夜回りとなっています。

そして、毎月十七日は稲荷様を拠点に、千円の会費を持ち寄ってコミュニケーションを図る定例会があります。ここでは、仕事のこと、景気のこと、町内のできごとなどの情報交換が行われます。

町内ぐるみで温かい協力を
こういう活動には、町内会や婦人会の皆さんから、援助をいただ

いていることがたくさんあります。たとえば、一番たいへんな雪まつりは毎回入賞している伝統を守るため、労力と浄財をいただいています。

それだけに、会員も町内に果す役割を認識しています。発会当時は、チームワークづくりと親睦行事が中心でしたが、町内の活性化を目指して、年を重ねるごとに役員が、ユニークな活動を企画しています。

「ほかの町内からうらやましい。ここに住んでいて、よかった」と言われ、誇れる町内にしよう」と稲和会の夢は大きくふくらみます。

まちかど インタビュー 声 Q&A

「三好園」の入所・利用状況は

Q ①特別養護老人ホーム「三好園」の施設見学に行きました。職員・後援会・ボランティアの皆さんがとても親切に温かく入所者の世話をし感心しました。

利用者も増え、今では満床とのことですが、一人でも多くのボランティア活動に参加していただくため、その活動内容と入所・利用状況をお尋ねします。



高橋 千恵子さん (中条八幡)

②6月17日の「住居表示を考えるシンポジウム」に参加しました。わたしも市内の住所が非常にわかりにくく、複雑さを感じています。その後、行政ではどのように取り組んでいるかお尋ねします。

A ①ホーム入所者は70人と満床です。ボランティア参加者も延べ1,572人となりました。

三好園も早いもので、昭和63年4月に開園して以来1年半がたちました。この間、在宅福祉の流れに対応して短期保護、デイ・サービス事業も導入してきました。また、三好園後援会をはじめとした、ボランティアの皆さんの

温かい善意で、地域の老人福祉の核となり得るような施設・環境づくりを進めています。

お尋ねのホーム入所者や短期保護、デイ・サービス利用者は、次のとおりです。

- ホーム入所者(10月末日現在)……70人(定員70人)
 - 短期保護(10月1カ月の利用者)……14人
 - デイ・サービス(10月の1日平均利用人員)……9人
- となっており、多くのお年寄りが利用しています。

また、ボランティアに参加してくれた団体・個人は、開園以来延べ1,572人となりました。主な仕事は、洗たくた



たみ、入浴後のお世話、館内清掃などです。多くの皆さんから、ボランティア活動に参加してもらいたいと思っています。

(特別養護老人ホーム「三好園」)

②住居表示は住民の声を聞きながら

住居表示に関して小千谷市、柏崎市を視察しましたが、その後の取り組みは、進んでいません。

確かに、日ごろわかりにくい、不便だと感じている人もあろうと思います。これらの混乱を解消したり、都市のイメージアップを図ることからも、今後の重要な事業として取り組まなければならないと思います。

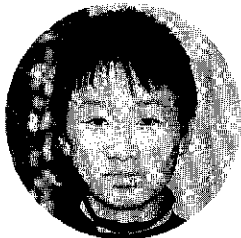
ただ、この事業は市民の意見がまとまらないと成功しません。他市では、事業を始めたものの反対があって市民の意見がまとまらないため、中断せざるを得なかったというケースもあるようです。

長期間にわたり、多くの人員や経費を要する事業ですので、市民の皆さんの日常生活における不便や混乱の状況、ご意見などをお聞きしながら、慎重に検討していきたいと思っています。

(総務課)

わたしたちの

学校自慢



6年 宮嶋裕樹くん

水沢小学校

(橘澤 恭一校長：児童数453人)

がんばるぞ!!

水沢っ子

わたしたちの学校には、ほかの学校にないくらい、大きな桜の木がたくさんあります。児童会の名前も桜ヶ丘児童会です。今年は、特にみごとに咲き、満開のころ給食委員会が「お花見給食」を企画しました。全校の児童がグラウンドに出て、仲良く桜を見ながら給食を食べました。教室で食べるよりも、更においしくいただきました。

夏休みの都市模型工作展参加では、全校の児童がいっしょけんめい工夫して、毎年いろいろな賞に入っています。また、県の模型工作展でもたくさん作品が賞に入り、今年も三年連続で最高の県知事賞をいただきました。

この欄「声」では、皆さんのところにお伺いして市役所の仕事などでわからないことや疑問点について担当課でお答えします。

また、係では近所話題、市に対する提言、ご意見も受け付けていますのでご連絡ください。

◆連絡先／総務課文書広報係
(☎57-3111内線213・214)へ。



大きなあね

(59)
(39カ月)

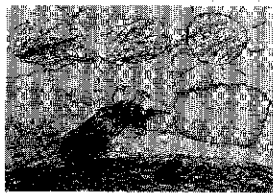
山口 真実子さん
久二・聖子さん長女
(下条本町)

わたしのおうちは豆腐屋さんをやっているの。できたてのおぼろ豆腐を食べるのが大好きよ。まえかけをして洗い物のお手伝いもするのよ。お父さんとお母さんが結婚して、15年目に初めてわたしが生まれたの。みんながとっても喜んでくれて大事にしてくれるのよ。

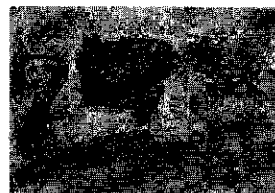
じょうずに描けたネ!

鑑島保育所

(59)



かめさんとかにさんが、
海で仲良く遊んでいるところ
を描いたんだよ。ほくは
かにさんが大好きなんだ。



保育所のプールを描いた
の。隣りにはりんごの木も
あるんだよ。大好きな先生
も美人に描けたてしよ。



保坂
卓臣くん
(5歳)

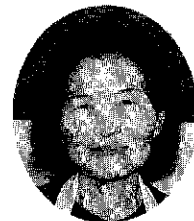


柳
美香さん
(6歳)

わが家味 32

材料

・米…5合・ぜんまい…軽く一握り・かんぴょう…8本・しいたけ…5枚・ちくわ…小2本・油揚げ…2枚・人参…少々・くるみ…適宜・油…大さじ2杯・しょう油… $\frac{1}{2}$ カップ・酒… $\frac{1}{4}$ カップ・だし汁… $\frac{1}{2}$ カップ



柳 敏子さん

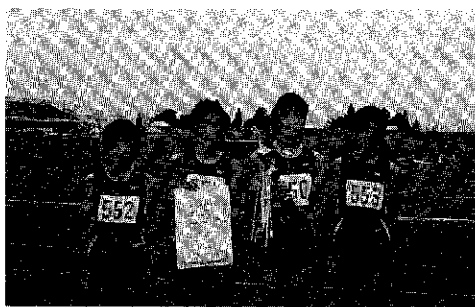
(麻畑 60歳)
(☎57-0666)

ぜんまいご飯

新米の季節にピッタリ!

わが家の孫たちに、たいへん喜ばれています。忙しいときは、有り合わせの材料で手軽に作られ、とても重宝します。
具を多めに作り、冷凍しておく
と、不意に人が尋ねて来たときにも、簡単に作られ便利です。
新米が食べられる季節です。ぜ

ひ一度試してみてください。
へ作り方①下準備……⑦ぜんまいは、もどして二つに切る。⑧かんぴょうは、水洗いにして少しおき、一ちに切り水煮しておく。⑨しいたけは、もどして薄く切る。⑩ちくわは、半月にして薄く切る。人参は、三つの千切りしてレンジまたは一つまみの塩を入れてゆでしておく。くるみは、砂糖としょう油で甘からく煮しておく。油揚げは、熱湯をかけて油切りし細く切る。⑪⑫⑬の材料を油でいため、だし汁・酒・しょう油を入れ、煮汁大さじ二杯をとり、いり煮しておく。⑭米は、水を控えて煮汁大さじ二杯を入れ、炊きあげ②と人参・くるみを合わせてできあがり。



輝かしい成績を収めた陸上クラブ

行われています。五年生以上の一人ひとりが、いっしょうけんめい取り組んで、すばらしい成績を残しています。その中でも今年は、陸上の百メートル走で県一位とな



満開の桜の下で「いただきます」

特設クラブも音楽・美術・習字・野球・相撲・陸上・水泳が活発に

先生方をはじめ地域の皆さんのおかげだと思っています。これからますます交通事故をなくして行き、まずは五百日、その次は千日の達成を目指していきたいと思っています。
学校内だけでなく、市全体でも交通事故をなくせたら良いなあと
思います。



交通事故ゼロ運動を話し合う企画委員会

り、全国大会に出場し、大きな成績を収めました。また、市の親善陸上大会でも四百メートルリレーとハードルで新記録を出しました。
交通安全の面でも企画委員会が、毎年交通事故ゼロ運動を行っています。このおかげで交通事故が減り、昭和六十二年には県知事賞をいただきました。現在では、三百六十日間交通事故がなく、これは、

秋の叙勲

晴れの受章

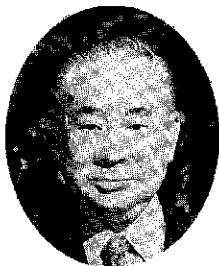
おめでとう

ございます

十一月三日（文化の日）付
けて、秋の叙勲の受章者が発
表され、市内からも次の四人
がその榮譽に輝きました。

勲五等双光旭日章

〔厚生行政功勞〕



尾口平吉さん
(本町6-1・71歳)

「地域医療に役立てばと思っ
ていた気持ちが報われ、春日元市長
さんから感謝状をいただいたのは、
わたしの宝物です」と熱っぽく話
す尾口さん。昭和二十年に十日町
病院に勤務し、五十七年までの三
十七年間、「県立病院設立協議会」
や「全国自治体病院協議会」など
の結成に尽くされ、常に主導的な
役割を果たしました。この間、自治
体病院の安定化を図り、三百余りの
病院の経営診断を、日本で初めて
手がけてくれました。

そして、日本病院協会や病院連
盟などの要職につき、地域医療の
発展に深くかかわってきました。

勲五等瑞宝章

〔社会福祉功勞〕



上村順平さん
(太田島2・72歳)

昭和二十六年に民生・児童委員
を委嘱されて以来、三十八年余り
恵まれない人たちのよき相談相手
となり、社会福祉の増進に努めて
きました。この間、民生委員協議
会長、身障者団体連絡協議会長、
傷痍軍人会支部長、養護老人ホー
ムの理事長などを歴任しています。
本人も戦争で片足を失い、その
欠陥を克服しながら、戦死者の家
族や戦傷病者、母子世帯に対して
生活援護をしてられました。「皆
さんの温かい心に支えられて受章
されたんです。心苦しい限りです」
と不自由な身を感じさせず、その
喜びを話す上村さん。

勲六等瑞宝章

〔消防功勞〕



大島福治さん
(中条旭町・65歳)

「団員の皆さんのおかげで、い
ただけたんです」と感謝を忘れな
いで話す大島さん。昭和十四年、
中条村警防団編成と同時に消防団
に入団し、六十二年までの四十八
年間、消防生活に尽くされました。
温厚な性格で熱意をもって団員を
まとめ、地域防災の発展に力を注
いでくれました。この間、班長
や部長、副分団長を務めてしまし
た。

昭和四十五年に県知事から精勤
賞を、五十四年に消防庁長官から
功勞賞を受賞しています。

勲七等青色桐葉章

〔防衛功勞〕



村山武さん
(南新田町2・61歳)

「突然の知らせにびっくりしま
したよ。生きているうちは、いた

だけるとは思ってもみませんでした。特に北海
道」と、もの静かに話す村山さん。

昭和二十五年に自衛隊に入隊し、
五十三年までの二十八年間、防衛
業務に従事し、作業隊長など常に
その手腕を発揮し、後進の指導に

当たってられました。特に北海
道の生活が長く、高田自衛隊に戻
ってきたのが五十年です。「当時は
小遣いに苦しみましたが、今は待
遇がよくなりましたね」と退官後も
自衛隊のよさを訴える村山さん。

保護司で法務大臣表彰

中林秀一郎さんが更正保護に尽力



(中条中町・70歳)

十月五日(木)、日本武道館で行わ
れた更正保護制度施行四十周年記
念全国大会の席上、中林さんは法

務大臣賞を受賞しました。

中林さんは、昭和四十六年から
これまで十八年間、保護司の仕事
に携わり、罪を犯した人たちの改
善や犯罪の予防に尽力されてまし
た。「全く思いもよらぬ受賞で、
恐縮と感謝の念でいっぱいです。
ちょうど満七十歳を迎えた月でも
あり、喜んでいきます」と笑顔を浮
かべて話してくれました。

県社会福祉協議会会長表彰

小林昌平さんが民生委員として功勞



(水口・66歳)

総務永年勤続で表彰されました。

小林さんは、四十八歳からこれ
まで十八年間、生活に困っている
人たちの相談相手となり、多くの
要援護世帯を更正させました。ま
た、民生委員協議会の先頭に立っ
て活躍し、その功績が認められた
ものです。その喜びを「表彰に値
することなどしていません」と謙
そんしながら話してくれました。

第三十九回県民福祉大会が、十
月十九日(木)・二十日(金)と弥彦村で
行われ、席上小林さんは民生委員

11月 交通安全キャンペーン

■夕暮れ時、雨天時の運転は要注意

夕方から、夜間にかけて重大事故が多発しています。視界が不十分になります。運転者はくれぐれも安全運転に心がけましょう。



10月中の交通事故発生状況(※)は累計

市町村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	平成元年 34(182)	36(198)	1(7)
	昭和63年 15(106)	17(127)	0(3)
川西町	平成元年 15(87)	15(101)	1(5)
津南町	昭和63年 7(52)	8(69)	1(3)
中里村	平成元年 49(289)	51(299)	2(12)
計	昭和63年 22(137)	25(106)	1(6)



横断歩道で死亡事故

10月25日(木)午後7時30分ごろ本町6丁目地内の国道117号線で、19歳の少年が運転する乗用車が横断歩道を横断中の65歳の女性に衝突し、脳挫傷で死亡しました。運転者は、前方を十分確認し、安全運転に心がけましょう。

心の健康相談

ノイローゼ気味で眠れない。酒の量が増え、まわりに迷惑をかけるなどの悩みをお持ちの人は、お気軽においでください。希望の人は、事前に申し込みください。

- とき 11月28日(火)午後1時30分～3時
- ところ 十日町保健所
- 担当医 石田医師(五日町病院)
- 申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または保健衛生課保健衛生係(☎内線138)へ。

断酒のつどい

一人ではやめられない酒を、仲間と励まし合って断酒道に励んでいる会です。お気軽においでください。希望の人は、事前に申し込みください。

- とき 11月24日(金)午後1時30分～3時
- ところ 十日町保健所
- 申し込み 十日町保健所(☎57-2400)または保健衛生課保健衛生係(☎内線138)へ。

職業訓練生募集

県立十日町高等職業訓練校では平成2年度の訓練生を募集しています。

- 訓練科 織物工芸科・染色工芸科
- 定員 各科とも20人(定員になりしだい締め切ります)
- 応募資格 高等学校を卒業した人(来春の卒業見込者を含む)で色覚が特に問題のない人
- 訓練期間 1年間
- 選考 各月の第4金曜日午後1時30分から
- 問い合わせ 県立十日町高等職業訓練校(☎57-1105)または十日町公共職業安定所(☎57-2407)へ。

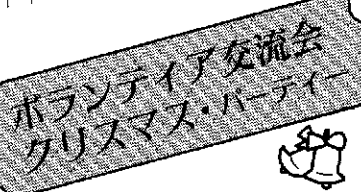
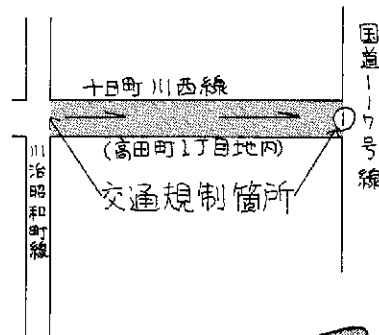
国の進学ローン

- 融資額 進学者100万円以内
- 利率 年利6.2%(変動別)
- 融資期間 5年以内(毎月元利均等返済)
- 対象 高校・大学などに進学するために資金が必要な人
- 保証人 一人以上
- 取扱期間 平成2年4月に進学される人は、平成2年4月まで。
- 申し込み 国民金融公庫長岡支店(☎0258-36-4360)または十日町商工会議所(☎57-5111)へ。

県道
十日町川西線

片側一方通行

主要地方道十日町川西線の高田町1丁目地内で12月28日(木)までの間、午前8時30分から午後5時30分まで、アーケード建築工事のため、一方通行となりますのでご注意ください。また、大型車両は通行止となります。



今年もクリスマス・パーティーを開きます。ボランティア活動に関心のある人は参加してください。

- とき 12月10日(日)午前11時～
- ところ クロス10大ホール
- 会費 1,000円(小学生以上)当日徴収
- 申し込み 12月1日(金)までに社会福祉協議会(社会福祉事務所内☎内線134)へ。

屋内体育施設の年間券を利用ください

- 問い合わせ 体育課(総合体育館内☎52-4377)

室内スポーツの季節です。健康・体力づくりに、安くて便利な4カ月券・6カ月券を利用ください。

区	分	一般・高校生	中学生以下
総合体育館 市民体育館 武道館	共通	4カ月券 800円 6カ月券 1,200円	400円 600円

11月の無料開放日は25日(土)です

ファミリースポーツテスト

10月15日(月)に陸上競技場で行われたファミリースポーツテストに、32人が参加しました。雨天にもかかわらず参加者は、各種目にいっしょうけんめい挑戦しました。



第23回バスケットボール 日本リーグ十日町大会

- とき 12月17日(日)正午～
- ところ 総合体育館
- ＜女子＞ トヨタ 対 鷺宮
- ＜男子＞ トヨタ 対 マツダ

ふるさとの歴史散歩

市史編さん室 (32) ②



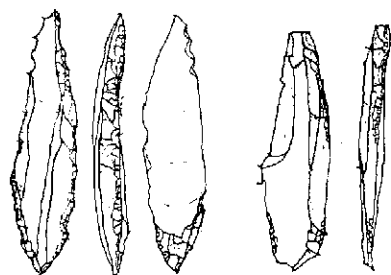
石器の話 (その2)

とがっている。

この石器は、一万七千年以前のころの道具で、石刃技法と呼ばれる製作技術で、連続的に剥がされる多量の石刃（縦長の細長い剥片）から作られる。接器と呼ばれる先端を、カモの口ばしのように加工された道具や、先端に槌状の剥離を入れた道具とともにセットになっているのが普通である。しかし、今回の調査では発見できなかった。

津南町の神山・檜の木平・貝坂遺跡は、この時期の著名な遺跡である。

市内では、土市の南谷内遺跡などで、この時期の石器が発見されている。



通り山遺跡（中里村）の「ナイフ型石器」

煮沸の容器である土器を、まだ作ることを知らなかった時期、今から一万二千年以上も前のころに住んでいた人々は、さまざまな技術を使って目的とする道具の石器を製作していた。

今年の夏、村道工事に伴う中里村通り山遺跡の調査で「ナイフ型石器」と呼ばれる器種の石器が三点出土した。残念なことに、元の位置から移動した黒土の中から出土した。しかし、本来は赤土の中に当時の生活面があるはずで、この近くに旧石器時代の人々が住んでいたことに間違いない。

出土したナイフ型石器の一点は、石質が黒曜石でだれが見ても優秀な形をしている。ナイフの指かけと思われる背は、ていねいに細工され、上下の両端は

話題の登場人物

—59—

ひよこの鑑別大会で

日本一に

齋木高志さん

（山本町4・38歳）

ひよこの雌雄を見分ける全国大会が、十月十四日(土)に岡山市で開かれ、齋木さんはみごと優勝して日本一に輝きました。

同大会は、百三十一人の鑑別師が参加し、齋木さんは百羽のひよこを三分四十四秒の素早さで完全に見分け、優秀な成績を収めました。高校を卒業後、親の勧めで名古屋市の鑑別師養成所で研修を受け、普通・高等鑑別師の資格を取りました。その後、五年間、西ドイツ・ノルウェー・ベルギー・チェコスロバ

キアで腕を磨き、帰国後、現在も一日一万羽、今までに五千万羽を鑑別しています。

この仕事は鶏卵と肉を消費者に安く供給するため、速さと正確さが要求される技術です。

「雌の中から『チューリツプ（トサカ）が咲いているぞ」と言われるのは最高の恥ですからね」と話す齋木さんはとても紳士な人柄の持ち主。「日ごろの精進を積み重ね、よい仕事ができるように頑張ります」と抱負を語ってくれました。



欲の秋……

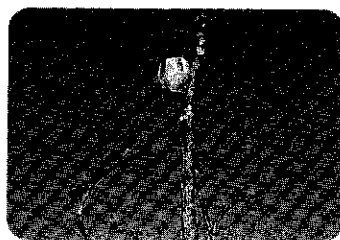
芸術の秋、読書の秋、そして食欲の秋……



風が吹くたびに木の葉が落ちるのを見ると秋の深まりを感じます。

とあかまちの自然

イラガ ③②



イラガは、この小鳥の卵のような繭の中で、蛹になる準備をしながら、冬越しをします。

繭は、太さ9mm、長さ13mmほどの白い殻で、殻の表面には、黒褐色の太いすじ模様があります。

イラガは、漢字で「刺蛾」と書きます。イラガは刺すという意味ですから、イラガは人を刺す蛾ということになりますが、刺すのは幼虫だけです。成虫や蛹は、素手で触っても、痛くもかゆくもありません。なお、幼虫はカキ・サクラ・カエデなどの葉を好んで食べます。



市の花 山つつじ

宇宙旅行ができる現在、こんな話を小さな子どもたちにしても、聞いてくれない。でも、どんなに科学が進歩しても、ウサギの心やお月見の夢は残しておきたい気がします。こうして、過ぎし日の思い出に心を濡らし自分自身の成長を感じ、なんとなく勇気づいてくれるから、毎日が生きられるんだと、そんな精神で生きたいと思っています。

（勉）